



新政会
山口 清悦
議員

一般競争入札参加資格審査について

質問 地場企業ポイントや地域貢献活動の評価ポイントを付与するなどの方法で市内に本社・本店のある地元企業を育成し、受注機会の増大を計るべきではないか。

答弁 本市では、平成20年度から市内業者の育成と市内経済の活性化を図る観点から、市内業者及び地場業者を入札参加対象者とした地域限定型一般競争入札を導入しており、建設工事については、ほぼ100%を市内業者及び地場業者が受注しています。地場企業ポイントや地域貢献活動の評価ポイントの付与は、北海道や札幌市等が導入している総合評価落札方式の評価項目であり、本市では実施していません。

質問 本市で地場企業とは支店や営業所を含んでいるが、函館・釧路・旭川などの入札条件のように市内に本店・本社がある企業に限

定するべきではないか。

答弁 他市の状況は把握していますが、限定すると工事の種類により参加業者数が少ないなどの支障が出るのが考えられるので、現在の方法を続けていきたいと考えています。

防災情報の住民告知について

質問 JアラートとFMラジオの連携スタートに向けて、市内における難聴地域カバー対策の実施を急ぐべきではないか。

答弁 市内のどこに居住していても迅速に災害情報が受信できることは、安心安全なまちづくりを進める上で必要です。また、FMラジオを利用することで広域的に即時に国から住民へ情報を伝達できることは効果が大きいと考えています。市内における難聴地区の解消については、多額の経費を伴うことと、通勤通学先での災害発生も考えられ、広域的な受信体制整備の必要性があることから、中空知構成市町やエフエムなかそらちとも話し合いながら、より効率の良い難聴地域カバー対策について検討していきたいと考えています。



市民クラブ
荒木 文一
議員

河川敷管理について

質問 まち自慢のパークゴルフ場設置の候補予定地となっている石狩川河川敷の「旧つつじコース」の管理状況と管理費用について伺う。

答弁 平成15年度の河川災害復旧工事に伴い、一部コース利用が困難となったことから、平成21年度末でゴルフ場の利用を取りやめ、市が受け皿となって芝生公園として利用しています。管理については、他の公園緑地と合わせて滝川振興公社に委託しており、この部分に係る委託費は年間約300万円程度となっています。

街路灯LED化について

質問 街路灯、防犯灯に係るLED化について、現在、来年度分の補助申請を各町内会から受け付けている状況と思うが、申請数等の状況について伺う。

答弁 途中経過ではありますが、

来年度の要望数は、74町内会等から907灯の要望をいただいています。仮に本年度と同様の予算額とした場合、申請灯数の4割程度が補助対象と考えますが、可能な限り申請いただいた灯数の予算化に努力したいと考えています。

空き店舗対策について

質問 中心市街地の空き店舗について、利活用に至らない要因をどう考えるのか伺う。

答弁 新規出店者を対象に家賃補助制度を実施してきましたが、長期の利活用には至りませんでした。要因として、借り手と貸し手の関係で、貸し手側は老朽化が激しい物件の改修等に着手できず、借り手側も高い頃の家賃水準や設備投資の資金力不足などから敬遠する傾向にあり、需給バランスにミスマッチを起している状態が考えられ、それぞれの立場で努力が必要と考えます。この負のスパイラルを断ち切るには、不動産の流動化を活性化させ、「集い」「賑わい」環境づくりを推進するため、市民、商店街、市民団体等の意識を共有化していく必要があると考えます。